

【案件概要】

ブフェジュ県における安全な水へのアクセス向上計画

1. 計画の概要

被供与団体	地域に根差した感染症対策の会
供与額	92,003米ドル
署名者	カビヤンバ・ベユンガ・ウィリー(代表)
計画名	ブフェジュ県における安全な水へのアクセス向上計画
実施地	ブフェジュ県(ウガンダ西部)
供与内容	雨水貯水タンク(20基)
贈与契約署名日	2016年3月3日

ブフェジュ県はウガンダ南西部に位置し、総面積の8割を標高2000メートル級の山岳地帯が占めるため、住民の多くは地下水の恩恵を殆ど受けられず、長年に渡り慢性的な水不足に喘いでいます。現在、地域住民は散在する湿地帯に停留した水源を、家畜等と共有しており、安全な水へのアクセスはありません。水汲み作業は子供と女性の仕事とみなされており、女性は日中は畑仕事や家事があるため早朝暗い時間帯に水汲みをしなければならず、道中性的被害に遭うことも少なくありません。同地域の学校では、早朝及び昼休みに各学年が交代で水汲みに行っていますが、水源までのアクセスの悪さから学習の遅れの原因になっています。また、このように集められた水の大半は、教職員の調理用水などに用いられ、生徒たちの飲用水として用いられることは殆どありません。本計画では、同県3準郡1町にある小学校20校を対象に雨水貯水タンク20基を建設し、安全な水へのアクセスを確保することで、生徒及び周辺地域住民の水・衛生環境を改善します。

2. 贈与契約署名式

2016年3月3日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とカビヤンバ・ベユンガ・ウィリー代表の間で贈与契約が署名されました。